

## 岐阜高専「フロインデホール」オープニングセレモニーを開催

岐阜高専は、創立50周年を迎えるにあたり、地域交流の核としての“ビジターフレンドリーな岐阜高専”を目指して、校舎群の主動線（“メインロード”）整備を行ってきた。

7月17日（水）、この一環として改修を進めていた渡り廊下のスペースを、「フロインデ（Freunde）ホール」と命名し、オープニングセレモニーを行った。フロインデはドイツ語で友達を表し、来訪者・学生・教職員が集い、知を伝え・知を生み出す場という意味が込められている。

オープニングセレモニーには、教職員・学生数十名が参加し、フロインデホールの命名者である北田敏廣校長の話に聞き入るとともに、ホール完成と今後の岐阜高専の発展を願い惜しみない拍手を送った。



フロインデホールの命名理由を説明する北田校長